※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２９

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	帝国書院編集部『高等学校　新地理総合』（帝国書院） 帝国書院編集部『新詳高等地図』（帝国書院）						
副教材等	帝国書院編集部『新詳地理資料 COMPLETE2025』（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「地理総合」は、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、公民としての資質・能力を育成することをめざす科目です。
・基礎的な知識を獲得するとともに、知識や諸資料を活用して自分の力で考えることが重要です。諸活動を通して、グローバルな視点と、地域から物事を考える視点の両方を養ってください。授業では、学校周辺のフィールドワークも予定しています。

２　学習の到達目標

(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関す様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部　地図でとらえる現代世界	第1章　地図と地理情報システム 1節　地球上の位置と時差 1　地球上の位置と私たちの生活 2　時差と私たちの生活 2節　地図の役割と種類 1　地球儀と地図 2　身の回りの地図 3　統計地図の種類と利用 4　地理情報システム(GIS)の活用	a:日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b:地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	考査における知識・技能問題	考査における地図や資料の読み取りを伴う思考力問題	個人作業による資料読み取りや主題図・グラフの作成 グループワークやペアワークによる意見交換及び発表
		狭山高校周辺フィールドワーク	a:狭山高校周辺の地形や気候、歴史的背景について理解し、地形図や主題図、地理情報システム等を活用しながら実際にフィールドワークを行うことで、実感を伴って理解している。 b:狭山高校周辺の地理的な課題について、地域のなりたちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して主題を設定し、課題解決に求め	狭山高校周辺についてまとめたワークシート	フィールドワークに関するパフォーマンス課題	グループワークやペアワークによる意見交換及び発表

※令和４年度以降入学生用

			られる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 c:狭山高校周辺の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。			
		第2章　結びつきを深める現代世界 1節　現代世界の国家と領域 1　現代世界の国家 2　日本の位置や領域 2節　グローバル化する世界 1　国家間の結びつき 2　貿易によって結びつく世界 3　さまざまな交通網の発　達 4　世界を結ぶ通信網の発達 5　観光のグローバル化	a: 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 b: 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	考査における知識・技能問題	考査における地図や資料の読み取りを伴う思考力問題	個人作業による資料読み取りや主題図・グラフの作成 グループワークやペアワークによる意見交換及び発表

※令和４年度以降入学生用

2学期	第2部　国際理解と国際協力	第1章　生活文化の多様性と国際理解 1節　世界の地形と人々の生活 1　大地形と人々の生活 2　変動隊と人々の生活 3　安定地域と人々の生活 4　河川が作る地形と人々の生活 5　海岸の地形と人々の生活 6　氷河地形･乾燥地形･カルスト地形と人々の生活 2節　世界の気候と人々の生活 1　気温･降水と人々の生活 2　大気大循環と人々の生活 3　世界の植生と気候区分 4　熱帯の生活 5　乾燥帯の生活 6　温帯の生活 7　亜寒帯･寒帯の生活 追究事例　自然1　乾燥した大陸と太平洋の島々での生活―オセアニア― 追究事例　自然2　モンスーンの影響を受ける地域での生活―東南アジア―	a：地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ、それぞれの地理的事象について世界的な視野から読み取ることができる。 ケッペンの気候区分と植生分布の関連性を理解し、自然環境が人々の生活文化や産業、伝統の形成などに深く関わり、また諸要素が相互に関連しあっていることを理解している。 地形図から等高線や地図記号などの情報を読み取り、地形の特徴や土地利用を捉えることができる。 地形や気候などの特徴を、雨温図や主題図、写真などから読み取ることができる。 b：地形や気候のなりたちについて、プレートテクトニクスや大気大循環、海洋分布などと関連づけながら、その成因と分布の特徴を世界的視野から考察できる。 ケッペンの気候区分から各気候分布の規則性を捉え、生活文化との関連性を比較しながら共通点や相違点を考察し、整理して表現することができる。 地形を活かした人々の暮らしの特徴について写真や地形図などから捉え、地形と生活文化との関連を考察できる。 地形や気候などの自然環境と人々の生活文化の関係性について、雨温図や主題図、写真など複数の資料を関連させながら説明することができる。 c：世界の地形･気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。 地形を活かした人々の暮らしの学習を通して、我が国の国土に関する諸課題を自分事として捉え、主体的に学ぼうとしている。 地形図や雨温図、主題図、写真、グラフ、統計資料などを理解するだけでなく、自ら表現することに意欲的に取り組んでいる。 雨温図の作図やパフォーマンス課題に積極的に取り組んでいる。	考査における知識･技能問題	考査における地図や資料の読み取りを伴う思考力問題 パフォーマンス課題	個人作業による資料読み取りや主題図･グラフの作成 グループワークやペアワークによる意見交換及び発表

※令和４年度以降入学生用

		3節　世界の言語･宗教と人々の生活 1　世界の言語と人々の生活文化 2　世界の宗教と人々の生活文化 追究事例　宗教1　イスラームと人々の生活の関わり―中央アジア･西アジア･北アフリカ― 追究事例　宗教2　ヒンドゥー教と人々の生活の関わり―インド―	a:世界の言語・宗教の特徴を理解し、生活文化との関係を読み取ることができる。 世界の言語や宗教、民族に関わる現代社会の諸課題の背景や現状を概観することができる。 現代世界における言語・宗教の変容について、主題図や写真などの資料から読み取ることができる。 世界の多様性と日本とのつながりを考え、異文化を尊重する態度が重要であることを理解できる。 b: 世界の言語･宗教の空間的な分布とその要因を考察し、自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。 世界の言語や宗教、民族に関わる現代世界の諸課題がおこっている複雑な背景を構造的に認識することができる。 現代世界における言語・宗教について、グローバル化や情報化によって変容している部分と変容していない部分を比較している。 多文化共生社会に向けた事例について整理・考察し、まとめている。 c: 世界の言語･宗教の多様性と生活文化の関わりについて、興味・関心をもって積極的に調べようとしている。 世界の言語や宗教、民族に関わる現代世界の諸課題について、日本との関わりも考えながら主体的に捉えている。 教科書以外のさまざまな資料も用いながら、主体的に世界の言語や宗教について、主体的に理解を深めようとしている。 多文化共生社会の実現方法について議論し、自分の意見をまとめている。	考査における知識･技能問題	考査における地図や資料の読み取りを伴う思考力問題	個人作業による資料読み取りや主題図･グラフの作成 グループワークやペアワークによる意見交換及び発表

※令和４年度以降入学生用

		4節　歴史的背景と人々の生活 1　歴史的背景が人々の生活に耐える影響 追究事例　歴史1　移民の歴史と人々の生活の関わり―ラテンアメリカ― 追究事例　歴史2　植民地支配の歴史と人々の生活の関わり―サハラ以南アフリカ― 追究事例　歴史3　国家体制の変化と人々の生活の関わり―ロシア―	a：生活文化に影響した歴史的背景が生活に与える影響について理解している。 b：生活文化に影響した歴史的背景が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：生活文化に影響した歴史的背景が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	考査における知識・技能問題	考査における地図や資料の読み取りを伴う思考力問題	個人作業による資料読み取りや主題図・グラフの作成 グループワークやペアワークによる意見交換及び発表
3学期		5節　世界の産業と人々の生活 1　人々の生活を支える農業の発展 2　人々の生活を支える工業の発展 3　グローバル化する現代の産業と人々の生活 追究事例　産業1　産業力が世界の生活文化に与える影響―アメリカ合衆国― 追究事例　産業2　経済成長による人々の生活の変化―東アジア― 追究事例　産業3　地域統合が人々の生活や産業に与える影響―ヨーロッパ―	a：農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題、工業の発達と生活の変化・地域差、企業活動のグローバル化と人々の生活への影響について理解している。 b：農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題、工業の発達と生活の変化・地域差、企業活動のグローバル化と人々の生活への影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題、工業の発達と生活の変化・地域差、企業活動のグローバル化と人々の生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとしている。	考査における知識・技能問題	考査における地図や資料の読み取りを伴う思考力問題	個人作業による資料読み取りや主題図・グラフの作成 グループワークやペアワークによる意見交換及び発表

※令和４年度以降入学生用

		第2章　地球的課題と国際協力 1節　複雑に絡み合う地球的課題 1　相互に関連する地球的課題とその解決に向けて 2節　地球環境問題 1　多様な地球環境問題 2　熱帯林の破壊への対策 3　地球温暖化への対策 3節　資源･エネルギー問題 1　世界のエネルギー･鉱山資源 2　エネルギーの利用の現状と課題 3　地域で異なるエネルギー問題への取り組み 4節　人口問題 1　世界の人口 2　発展途上国と先進国の人口問題 3　地域で異なる人口問題への取り組み 5節　食料問題 1　飢餓と飽食 2　地域で異なる食料問題への取り組み 6節　都市･住居問題 1　世界の都市の発展 2　発展途上国と先進国の都市･住居問題 3　地域で異なる都市･住居問題への取り組み	a: 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住･都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b:世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	考査における知識･技能問題	考査における地図や資料の読み取りを伴う思考力問題	個人作業による資料読み取りや主題図･グラフの作成 グループワークやペアワークによる意見交換及び発表

※令和４年度以降入学生用

	第3部　持続可能な地域づくりと私たち	第1章　自然環境と防災 1節　日本の自然環境 1　日本の地形 2　日本の気候 2節　地震・津波と防災 1　地震・津波による災害 2　地震・津波の被災地の取り組み 3節　火山災害と防災 1　火山の恵みと災害 2　火山と共生する地域の取り組み 4節　気象災害と防災 1　さまざまな気象災害 2　気象災害への取り組み 5節　自然災害への備え 1　減災の取り組み 2　被災地への支援	a: 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 b:地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	考査における知識・技能問題	考査における地図や資料の読み取りを伴う思考力問題 パフォーマンス課題	個人作業による資料読み取りや主題図・グラフの作成 グループワークやペアワークによる意見交換及び発表

※令和４年度以降入学生用

		第2章　生活圏の調査と地域の展望 1節　生活圏の調査と地域の展望 １　地理的な課題と地域調査 ２　現地調査の準備 ３　現地調査の実施 ４　調査の分析と発表	a：生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 b：生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c：生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	考査における知識・技能問題	考査における地図や資料の読み取りを伴う思考力問題 パフォーマンス課題	個人作業による資料読み取りや主題図・グラフの作成 グループワークやペアワークによる意見交換及び発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度